

事務事業コード	743114	事務事業名	小田西水道管理組合運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	管理グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	3	安全で良質な水の安定供給		内線番号	2411
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 16 年度~)
	項	1	農業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	5	農地費	根拠法令・条例等	なし
	コード	743114			
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)						
小田西地区(隼人)の安定的な生活飲用水を供給するために、小田西水道管理組合が管理している水道施設の維持管理に係る経費の補助を行っている。 補助金交付額:100,000円(薬品費・光熱水費・修繕費等) 給水戸数:24戸 配水管延長:2,025メートル						
補助金・負担金の交付先	小田西水道管理組合		補助金の対象経費	組合の運営及び活動に要する経費		
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 修理の件数		件	0	0	0	0
イ 施設点検の1年間の回数		回	366	365	365	365
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 小田西水道管理組合	小田西水道管理組合員	世帯	24	24	24	24
イ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 安定的な生活飲用水が供給される	安定的に供給されなかったと感じた人の数(苦情件数/供給世帯)	%	0	0	0	0
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア 安全で良質な水を安定して供給できる	断水件数	件	51	65	40	40
イ						

(2) 事業費

単位: 千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	100	22年度(予算)	100	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額	0					
	予算合計	100	100				
決算額	国庫補助金					この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	100					
支出合計	100						

事務事業 コード	743114	事務 事業名	小田西水道管理組合運営支援事業	担 当 部	農林水産部
				担 当 課	耕地課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	小田西水道管理組合									24人	補助金	100	補助金	100	補助金	100
											自主財源	589	自主財源	580	自主財源	580
											合計	689	合計	680	合計	680
											自主財源率	85%	自主財源率	85%	自主財源率	85%
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計										24人	補助金負担金合計	100	補助金負担金合計	100	補助金負担金合計	100
											自主財源合計	589	自主財源合計	580	自主財源合計	580
											自主財源率	85%	自主財源率	85%	自主財源率	85%

負担金の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名									負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					全国	九州	県	その他
										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
										合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	100
補正予算	
合計	100

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	安定的な飲料水を供給することは、安全で良質な水の供給に結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	飲用水確保のために市が設置した施設を適切に管理するための経費に対し、一部補助を行うことは妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	小田西水道を利用している組合員で構成している団体であるため、対象については妥当である。また、施設の維持管理を行い、安定的な飲用水の供給が必要なことから意図も妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現状では100%に近い対応ができていますが、上水道への移行により成果を向上させる余地がある。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	維持管理が難しくなり、飲用水の確保ができなくなる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 上水道事業
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	安定した飲用水の供給に必要な維持管理費であるため、現時点ではこれ以上の削減余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金申請書、実績報告書等を受付・審査の上、補助金交付を行うための必要最低限の人件費である。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	上水道のない地域住民で組織された団体へ補助を行うため、受益者は限定されているが、必要最低限の生活飲用水を確保するための事業であり適正である。しかしながら、上水道への移行を図る必要がある。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  現在、霧島市の上水道計画に基づいて工事計画中である。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
現在、市の上水道給水計画により、平成23年3月31日までに給水開始できるよう計画内である。	上水道の計画の進捗状況により、平成22年度と同様に継続するか流動的である。

事務事業コード	743117	事務事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	管理グループ
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	2411
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年度~)
	項	1	農業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	5	農地費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	コード	743117			
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)								
霧島市内の4土地改良区(十三塚原土地改良区984人・竹子土地改良区219人・宮内原土地改良区2036人・福山町土地改良区513人)に運営費補助として補助金を交付している。 十三塚原土地改良区5,465,000円、竹子土地改良区3,515,000円、宮内原土地改良区764,000円、福山町土地改良区2,375,000円(市の活動) 土地改良区に補助金を支出するための手続(交付申請書の受付、交付決定、実績報告書の受付、補助金交付)を行う。 (土地改良区の活動) 農業用施設(用水路・排水路・水門・農道等)の維持管理、賦課金の徴収 *土地改良区とは、土地改良法に基づき設置された団体で、土地改良区内に農地を保有する農家を組合員として構成されている。								
補助金・負担金の交付先		土地改良区		補助金の対象経費		土地改良区の運営及び活動に要する経費		
活動指標 (事務事業の活動量)				単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	補助金交付団体数			団体	4	4	4	4
イ								
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	土地改良区の組合員		組合員数	人	4,207	3,752	3,752	3,752
イ								
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	組合員の賦課金が軽減される		歳入予算に対する賦課金の割合	%	28	35	35	35
イ								
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	経営体質が強化される		認定農業者数	戸	323	326	325	330
イ								

(2) 事業費			単位: 千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等		
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?		事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?		
予算額	当初予算額	12,119	主に大規模な事業(圃場整備事業、かんがい事業)が導入され、維持管理の部門が必要となったため。土地改良区の整備に関しては、国・県・市及び受益者負担によって行われた。4改良区に関しては施設の規模が大きく、市保有の施設の維持管理も含めて改良区が行うため、補助金を交付することとなった。		平成19年4月1日、県からの権限移譲により、土地改良区に対する指導権限が市に移譲された。		
	補正予算額						
	予算合計	12,119					
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?		この事務事業に対する議会から出された意見		
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	12,119					
	支出合計	12,119					
				受益者(区域内の農地所有者)からは、できるだけ改良区の賦課金を上げずに安定した用水が確保できるように要望されている。土地改良区からは、用水路には住宅からの排水が流込むために水質が悪化、有機農法を取り入れられない等、農作物の品質に影響があるとの意見もある。			

事務事業 コード	743117	事務 事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	十三塚原土地改良区									984人	補助金	5,465	補助金	5,465	補助金	5,465
											自主財源	165,183	自主財源	165,183	自主財源	165,183
	合計										170,648	170,648	170,648	170,648		
対象地区																
自主財源率									97%	97%	97%	97%				
2	竹子土地改良区									219人	補助金	3,515	補助金	3,515	補助金	3,515
											自主財源	13,791	自主財源	13,800	自主財源	13,800
	合計										17,306	17,315	17,315	17,315		
対象地区																
自主財源率									80%	80%	80%	80%				
3	宮内原土地改良区									2,036人	補助金	764	補助金	764	補助金	764
											自主財源	24,685	自主財源	24,690	自主財源	24,690
	合計										25,449	25,454	25,454	25,454		
対象地区																
自主財源率									97%	97%	97%	97%				
4	福山土地改良区									513人	補助金	2,375	補助金	2,375	補助金	2,375
											自主財源	8,719	自主財源	8,720	自主財源	8,720
	合計										11,094	11,095	11,095	11,095		
対象地区																
自主財源率									79%	79%	79%	79%				
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区																
自主財源率																
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区																
自主財源率																
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区																
自主財源率																
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区																
自主財源率																
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区																
自主財源率																
10											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区																
自主財源率																
計										3,752人	補助金負担金合計	12,119	補助金負担金合計	12,119	補助金負担金合計	12,119
											自主財源合計	212,378	自主財源合計	212,393	自主財源合計	212,393
											自主財源率	95%	自主財源率	95%	自主財源率	95%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					全国	九州	県	その他
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
合計																	

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	12,119
補正予算	
合計	12,119

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	743117	事務事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	土地改良区の円滑な運営と財政の健全化を図ることは、農業者の負担を緩和させることとなり、経営体質の強化に結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	多くの農業用施設の維持管理や補修を行い、安定的に農業用水の供給を行っているとともに、地域の環境保全も担っている等、公共性の高い組織であるため、その運営に関して補助することは妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	全ての土地改良区組合員を対象としており対象は妥当であり、組合員の経営安定に寄与するため意図も妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	現状において、土地改良区の円滑な運営と財政の健全化が図られている。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	組合員(農家)の負担が増える。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)  土地改良区に対する支援事業は、本事業のみである。
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	県内でも高い水準の賦課金であり、今の状況での運営が精一杯である。運営状況が改善されれば、削減について検討したいが、現状に於いては難しい。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金申請を受付審査の上、補助金交付を行うために必要な人件費である。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	改良区に属していれば受益機会は公平である。
総括	<b>(1)1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2)全体総括(振り返り、反省点)</b>  各種の補助金の削減が行われている中、土地改良区への補助金も既にも実施されているところであり、土地改良区の運営を考えると、これ以上の補助金の削減は厳しく、現状は何とか適切に運営されているところである。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
3 今後の方向性 <PLAN>			
<b>(1)評価結果にもとづく今後の方向性</b>		<b>(2)廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>	
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要			
<b>(3)具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか</b>			
平成22年度の取組み概要及び期待される効果		平成23年度に取り組むべき具体的な内容	

事務事業コード	743212	事務事業名	農村振興整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2421
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 25 年度
	款	6	農林水産業費		
	項	1	農業費	根拠法令・条例等	なし
	目	6	農道及び用排水路整備事業費		
コード	743212				
関連計画					

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的 <Do>

事業開始の理由及び事業の概要	事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	事業に対する議会から出された意見
豊かな住みよい農業農村を目指すことを目的とした本事業を活用し、国庫補助及び県補助により市の財源負担の軽減を図りながら、地域住民からの要望を勘案し、効率的な生産基盤等の整備を行うために、平成17年度の事業採択により開始した。	農村環境基盤の整備を行う本事業の導入を他の地域住民からも強く要望されている。	特になし。

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 農業用施設	農業用施設の機能保全	効率的な生産を行う基盤が整う。
イ 市民	利用者の安全確保	

全体計画 ( H 17 ~ H 25 )	平成20年度までの実施状況	平成21年度実績	平成22年度計画
農業用水施設 7地区 農業用排水施設 3地区 農道整備 4地区 農業集落道 4地区 自然環境・生態系 4地区 営農飲雑用水 1地区 市町村創造型整備 1地区	農業用水施設 4地区 L=914m 農業用排水施設 3地区 L=660m 農道整備1地区 L=209m 農業集落道2地区 L=1061m 自然環境・生態系2地区L=795m 測量設計委託21地区 用地補償一式	農業用水施設 1地区 L=139m 農道整備2地区 L=279m 自然環境・生態系3地区L=473m 測量設計委託一式 用地補償一式	農道整備3地区 L=430m 農業集落道 1地区 L=130m 自然環境・生態系1地区L=140m 測量設計委託 一式 用地補償 一式
平成23年度計画	平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度以降計画
農業用水施設3地区L=285m 農道整備2地区 L=345m 農業集落道 3地区 L=610m 自然環境・生態系2地区L=181m 用地補償 一式	農業用水施設3地区L=385m 農道整備1地区 L=315m 農業集落道 1地区 L=314m 自然環境・生態系2地区L=127m 用地補償 一式	農道整備1地区 L=75m 自然環境・生態系1地区L=315m 地域交流施設1地区 一式	

(2) 事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 ( H 17 ~ H 25 )			
	単独	補助	合計
国		383,800	383,800
県		137,385	137,385
地方債		233,900	
辺地債			
過疎債			
合併特例債		233,900	233,900
その他			
一般財源		12,515	12,515
計		767,600	767,600

	H 21年度 決算 (A)	H 22年度 計画 (B)	前年度比較 (B) - (A)	
当初予算額	80,836	80,400	▲ 436	0.5% 減
補正予算額			---	---
予算合計	80,836	80,400	▲ 436	0.5% 減
国庫補助金	40,400	40,200	▲ 200	0.5% 減
県支出金	14,400	14,400		
地方債	24,700	24,500	▲ 200	0.8% 減
その他				
一般財源	1,300	1,300		
支出合計	80,800	80,400	▲ 400	0.5% 減

事務事業コード	743212	事務事業名	農村振興整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の機能保全が図られることで、効率的な生産基盤が整備される。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の整備・維持管理は市が行うべき業務であるため、公共関与は妥当である。
B 有効性評価	<b>目標達成度</b> ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	当初計画に基づいて事業を行っており、事業は順調である。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業に係る費用を市単独で負担することとなり、市の財政負担が大きくなるため、農業用施設の整備が遅れる。
C 効率性評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	公共事業として適切であり、コスト削減も加味された事業であるため、削減余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計については一部委託を行っているが、事務手続き及び工事伴う設計管理委託をすべて最小限の職員で行っているため、削減余地はない。
D 公平性評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	要望箇所及び施設の老朽化の著しい箇所等を地区ごとに抽出し、市全体の緊急順位を勘案したうえで、国への事業採択を要望しているため、公平・公正である。
総括	<b>(1)1次評価者(課長)としての評価結果</b>	<b>(2)全体総括(振り返り、反省点)</b>	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業も中盤に入り早期着工・完成を望む市民要望が多いが、用地取得交渉に難航している。用地の早期取得に向けた取り組みを強化したい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
<b>(1)評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要	



事務事業コード	743213	事務事業名	農道・用排水路整備事業		担当部	農林水産部	
政策名	3	活力ある産業のまちづくり			担当課	耕地課	
施策名	1	農・林・水産業の振興			グループ	耕地グループ	
基本事業名	2	生産基盤の整備			電話番号	45-5111	
予算科目	会計	一般会計			内線番号	2421	
款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	6
					農道及び用排水路整備事業費	コード	743213

1.現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

対象	意図	結果
農業用施設 市民	農業用施設の機能保全 利用者の安全確保	効率的な生産を行うための、基盤整備が図られる。

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	国分小村新田地区	新規	水路改良 L=116m			H 21	
		国分	1,460				
2	国分川原地区	新規	水路改良 L= 99m			H 21	
		国分	1,029				
3	国分広瀬地区	新規	水路改良 L= 25m			H 21	
		国分	1,628				
4	国分上小川地区	新規	道路改良 擁壁・緑石			H 21	
		国分	662				
5	隼人町小浜地区	新規	農道改良 L=131m			H 21	
		隼人	1,664				
6	隼人町松原地区	新規	水路改良 L=185m			H 21	
		隼人	1,930				
7	隼人町内地区	新規	水路改良 L= 14m			H 21	
		隼人	1,911				
8	隼人町松永地区	新規	道路改良 盛土工			H 21	
		隼人	914				
9	隼人町朝日地区	新規	道路舗装 L=113m			H 21	
		隼人	893				
10	隼人町西光寺地区	新規	道路舗装 L=167m			H 21	
		隼人	943				
<b>&lt;地区別&gt;</b>		継続 = 3	新規 = 41	継続 = 3	新規 = 16		

	H 21	H 22
国分	14	4
溝辺	4	2
横川	3	1
牧園	3	2
霧島	3	2
隼人	11	2
福山	3	1

<全体事業費>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
事業費	91,586	70,689	▲ 20,897
事務費	5,342	2,612	▲ 2,730
合計	25路線 96,928	10路線 73,301	▲ 15 路線 ▲ 23,627

平成21年度実績の全体事業費の計と財源内訳が一致しません！

<財源内訳>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金			0
県支出金			0
地方債			0
その他			0
一般財源	96,928	73,301	▲ 23,627
合計	96,928	73,301	▲ 23,627

(2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
施設利用者から農業用施設の未整備箇所の整備や老朽化による修繕要望が多く寄せられている。	平成22年3月議会及び6月議会で、用水路、頭首工の未整備箇所について計画的に整備、計画を急ぐ必要があるのではないかとこの質問があった。

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
11	溝辺町麓地区	新規	農道改修 L= 42m			H 21	
		溝辺	441				
12	溝辺町有川地区	新規	道路舗装 L=200m			H 21	
		溝辺	1,733				
13	溝辺町宮川内地区	新規	水路改修(嵩上げ)L= 82m			H 21	
		溝辺	699				
14	横川町松元地区	新規	水路改修 L= 20m			H 21	
		横川	992				
15	横川町鳥喰地区	新規	水路改修 L= 55m			H 21	
		横川	924				
16	福山町馬渡地区	新規	水路改修 L=100m			H 21	
		福山	1,218				
17	福山町小廻地区	新規	水路改修 L= 86m			H 21	
		福山	945				
18	国分朴木地区			新規	水路改修 L=50m	H 22	
				国分	1,500		
19	国分中央地区			新規	水路改修 L= 8m	H 22	
				国分	1,500		
20	国分台明寺地区			新規	水路改修 L=95m	H 22	
				国分	2,400		
21	隼人町見次地区			新規	水路改修 L=32m	H 22	
				隼人	3,000		
22	隼人町松永地区			新規	道路改良 L=38m	H 22	
				隼人	2,500		
23	溝辺町麓地区			新規	水路改修 L=50m	H 22	
				溝辺	1,800		
24	横川町中ノ地区			新規	水路改修 L=85m	H 22	
				横川	1,200		
25	牧園町西脇地区			新規	農道・水路整備 L=10m	H 22	
				牧園	1,600		
26	霧島永野田地区			新規	頭首工改修・護岸工 一式	H 22	
				霧島	2,000		
27	福山町三田平地区			新規	水路改修 一式	H 22	
				福山	2,500		
28	国分川内地区他	新規	分筆委託				
		国分	189				
29	国分春山地区	新規	除草委託				
		国分	162				
30	国分中央六丁目	新規	樹木伐採委託				
		国分	302				
31	福山町山中地区他	新規	事業計画策定委託				
		国分	6,668				
32	国分中央三丁目	新規	国分庁舎雨量計点検委託				
		国分	32				
33	国分名波町地区	新規	埋設物試掘調査				
		国分	357				
34	国分下井地区	新規	用地測量委託				
		国分	105				
35	国分広瀬地区	新規	水路浚渫委託				
		国分	410				

番号	路線名等	平成21年度		平成22年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
36	隼人町見次地区	新規	排水路調査測量設計委託			H 21	
		隼人	2,310				
37	隼人町真孝地区	新規	樹木伐採委託			H 21	
		隼人	152				
38	国分川内地区	新規	除草委託			H 21	
		国分	21				
39	国分上小川地区	新規	測量設計委託			H 21	
		国分	292				
40	溝辺地区	新規	施設補修・用地測量・看板設置委託			H 21	
		溝辺	700				
41	牧園町中津川地区他	新規	測量設計委託			H 21	
		牧園	1,402				
42	霧島地区	新規	除草委託			H 21	
		霧島	427				
43	福山地区	新規	除草委託			H 21	
		福山	588				
44	霧島橋口地区	新規	事業計画策定委託			H 21	
		霧島	3,150				
45	牧園町大窪地区	新規	事業計画策定・地質調査委託			H 21	
		牧園	4,725				
46	霧島尾谷地区	新規	用地測量委託			H 21	
		霧島	998				
47	隼人町見次地区他	新規	分筆委託			H 21	
		隼人	507				
48	牧園町聖原地区	新規	除草委託			H 21	
		牧園	88				
49	霧島橋口地区	新規	地質調査委託			H 21	
		隼人	1,309				
50	横川町阿弥陀原地区	新規	CBR調査委託			H 21	
		隼人	158				
51	横川町正牟田地区	新規	測量設計委託			H 21	
		横川	420				
52	市内地域			新規	国道跨道橋概略点検委託	H 22	
				国分	650		
53	国分上之段地区 溝辺町西鍋地区			新規	測量設計委託	H 22	
					680		
54	市内地域			新規	農業施設維持管理委託	H 22	
					5,000		
55	溝辺町現王・栗下地区			新規	計画書作成委託	H 22	
				溝辺	3,000		
56	牧園町西脇・越地区			新規	設計委託	H 22	
				牧園	300		
57	霧島段之平地区			新規	事業計画書作成委託	H 22	
				霧島	5,000		
58	市内地域	継続	修繕料	継続	修繕料		
			29,851		19,559		
59	市内地域	継続	使用料及び賃借料	継続	使用料及び賃借料		
			7,896		8,000		
60	市内地域	継続	原材料	継続	原材料		
			8,385		8,500		

事務事業コード	743213	事務事業名	農道・用排水路整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	修繕や改良を行うことで、農業用施設の機能が向上し、効率的な生産基盤が整備される。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設は市が保有する施設であり、農業を行うために必要な施設であることから、修繕・整備等を市で行わなければならない。
B 有効性評価	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	農家や地元住民の負担が大きくなり、安定した営農が出来なくなる。
C 効率性評価	<b>事業費の削減余地</b> ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	最小限の費用で最大限の成果をだしているため、削減余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	苦情処理や要望への対応、さらに事業の設計や事業費の積算等を最小限の人員で遂行しているため、削減余地はない。
D 公平性評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内全域での要望箇所及び施設の老朽化等を勘案し、緊急順位を決めて事業を実施しているので、公平・公正である。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	福山、牧園、霧島地区において、次年度新規採択希望地区の計画書作成ができた。また道路、水路など市民要望17箇所の改良が図られた。

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (2) 具体的な改善計画は不要	

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地グループ
基本事業名	7	観光農林漁業の推進		電話番号	45-5111
				内線番号	2421
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 24 年度
	款	6	農林水産業費		
	項	1	農業費	根拠法令・条例等	なし
	目	5	農地費		
コード	743125				
関連計画					

1. 現状把握 (1) 事務事業の目的 <Do>

事業開始の理由及び事業の概要	事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	事業に対する議会から出された意見
霧島の玄関口として、体験農園や観光農園を利用できる日常的な緑とのふれあい空間の整備の一環とし、平成12年度から緑地公園整備として県営中山間地域総合整備事業(KAM霧島南部地区)で計画し、事業の実施を行ってきた。緑地公園が完成することにより、スポーツ・レクリエーションを通し地域住民と都市との交流促進が図られることから、公園整備を行う。	野球・サッカー等の地域スポーツ協議会関係者から「チーム数が多い中で練習場が少ない」「霧島市圏で県大会レベル以上の大会を一箇所で開催できる様な運動公園を」との要望がある。また、地域住民の憩いの場として、早期完成が望まれている。	

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 市民	緑地公園として利用する	農林漁業を観光資源として利用する
イ		

全体計画 ( H 17 ~ H 24 )	平成20年度までの・実施状況	平成21年度 実績	平成22年度 計画
春山緑地公園整備 A=3.8ha	実施設計 A=3.8ha	造成敷地整備 園路広場整備(路床・縁石) 運動施設整備(バックネット基礎)	施設・電気・給水設計業務委託 電気・給水施設整備 園路・広場整備(縁石・側溝) 運動施設整備(バックネット)
平成23年度 計画	平成24年度 計画	平成25年度 計画	平成26年度以降 計画
便益施設整備(トイレ・手足洗場) 給水・電気施設整備 グラウンド整備 用地取得	修景施設整備(植栽) 休養施設整備(ベンチ等) 管理施設整備(管理棟) 運動施設整備(ダッグアウト)		

(2) 事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 ( H 17 ~ H 24 )			
	単独	補助	合計
国			
県			
地方債	151,000		
辺地債			
過疎債			
合併特例債	151,000		151,000
その他			
一般財源	212,562		212,562
計	363,562		363,562

	H 21年度 決算 (A)	H 22年度 計画 (B)	前年度比較 (B) - (A)	
当初予算額	70,000	89,000	19,000	27% 増
補正予算額			---	---
予算合計	70,000	89,000	19,000	27% 増
国庫補助金				
県支出金				
地方債	66,500	84,500	18,000	27% 増
その他				
一般財源	3,500	4,500	1,000	29% 増
支出合計	70,000	89,000	19,000	27% 増

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公園整備を行う事により、都市との交流が促進され、観光農園の来客数も増えることから、農林漁業を観光資源として利用することに結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業農村地域の活性化を図るため、都市との交流基盤施設である公園整備を市が行う必要がある。
B 有効性評価	<b>目標達成度</b> ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	地元住民及び関係市民から、早期完成が望まれている。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	交流基盤整備である公園整備であることから、廃止すれば農業農村地域の活性化に影響がある。
C 効率性評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	盛土材に他工事による発生土を流用するなど、最大限のコスト削減に取り組んでいることから、以降削減の余地はない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員が行う設計積算業務等、最小限の人員で行っており、削減余地はない。
D 公平性評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	すべての市民が利用できることから、受益機会は均等であり、公平・公正である。
総括	<b>(1)1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2)全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民からの早期完成が望まれる中、予算額により工種に区切りがつけられない状況である。(完成年度の目途が立てられない)	

3 今後の方向性<PLAN>	
<b>(1)評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要	